



# 白河市 議会だより

2020

11 / 9

VOL.60



つけて走って白河をPR！  
幼稚園バスも親しみやすい白河ナンバーになりました。(ひがし幼稚園)

## ～議会からのお願い～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続きマスクの着用、3密回避、手洗いや手指の消毒を！

思いやりの心で感染した人をサポートし、誹謗中傷から守り、温かく迎えましょう！

## 〈令和2年9月定例会〉

### 目次

- ・9月定例会…………… 2～3p
- ・各常任委員会の報告…………… 4～5p
- ・決算審査特別委員会報告…………… 6～7p
- ・一般質問…………… 8～15p
- ・議員提出議案・請願・陳情…………… 15p
- ・12月定例会予定／本会議の傍聴／人事案件  
思いやり条例／編集後記…………… 16p

Point 1

Point 3

# コロナ対策補正予算・思いやり条例などを可決 令和元年度一般会計及び特別会計決算を認定

Point 2

- ◇ 一般会計補正額 32億5,218万6千円 予算総額 416億1,532万3千円
- ◇ 特別会計等補正額 4億4,353万8千円 予算総額 193億1,367万1千円

Point 1

一日でも早く！市民のためにコロナ対策事業に着手したい！

## コロナ対策補正予算を開会日に可決！

\* 議案76号・77号を先議として委員会付託省略。9億4,526万円のうち、  
コロナ感染症対策事業 **8億7,514万9千円** をピックアップ。

Withコロナ  
今！必要な支援策と予防対策！

Afterコロナ  
収束後の白河を見据えて！

補正予算額 3億4,162万5千円

- 市民の命と健康を守る (感染拡大防止) 2億1,979万3千円
  - ◆テレワーク推進事業 6,519万1千円
  - ◆災害用備蓄品整備事業 1,315万5千円
- 市民の暮らしを支える (家計・生活支援) 7,697万6千円
  - ◆新生児特別定額給付金事業 4,090万9千円
  - ◆ひとり親世帯臨時応援給付金事業 2,107万7千円
- 地域の経済を回し続ける (経済活動の支援) 983万8千円
  - ◆交通事業者維持支援事業 473万8千円
  - ◆畜産農家経営継続支援事業 510万円
- 白河の文化の火を灯し続ける (市民活動の支援) 3,501万8千円
  - ◆舞台芸術公演支援事業 180万円
  - ◆文化施設活用推進事業 2,921万8千円

補正予算額 5億3,352万4千円

- 白河居住スタイルの魅力発信力強化 1,129万6千円
  - ◆定住・二地域居住推進事業 1,129万6千円
  - ・移住・定住ポータルサイト制作業務委託 4,306千円
  - ・引越し支援事業補助金 6,000千円
- 足元の資源を活かした観光の魅力向上 4,361万5千円
  - ◆観光PR用アニメーション制作事業 520万円
  - ◆公園施設整備事業 2,922万7千円 他
- 新たな働き方のデザイン 1億6,366万3千円
  - ◆サテライトオフィス推進事業 
- 子どもたちの創造性を育むICT教育の推進 2億9,267万6千円
  - ◆校内通信ネットワーク整備事業 
- 地域デジタル化の推進 2,227万4千円
  - ◆ネットワーク整備事業 (Wi-Fi環境整備) 2,150万円 他
  - Wi-Fi (ワイファイ) …無線でインターネットを利用できる通信技術のこと



**サテライトオフィス推進事業！**  
人材育成センターを改修しテレワークが可能となる施設を整備。企業のサテライトオフィス（企業が場所や時間の制約を受けず、柔軟に仕事をする働き方）設置の支援。



**校内通信ネットワーク整備事業！**  
ICT（情報通信技術を活用した教育手法）教育を推進するため、小中学校に高速大容量の通信ネットワークを整備する。

### \* 議案90号 一般会計補正予算額 23億703万7千円

新規事業と主なものをピックアップ！

森林経営管理事業（新規事業）	809万8千円	山林の適切な経営や管理を進める事業
財政調整基金積立金	10億8,514万8千円	年度間の財源不足に備えるために積み立てられた積立金（貯金）で、財源が不足する年度に活用する目的の基金である財政調整基金への積立金。
長期債償還元金（繰上償還）	7億1,358万3千円	将来の公債費負担を軽減するため、減債基金を活用し、繰上償還。

# 9月定例会

9月定例会は9月9日から10月2日までの24日間開催され、提出議案28件（「白河市思いやり条例」の制定など条例案7件、令和元年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定を含む単行議案6件、新型コロナウイルス感染症対策関係事業予算である令和2年度一般会計補正予算など予算案8件、人事案件2件、報告5件）について審査し、すべて原案のとおり議決されました。

令和元年度一般会計及び13の特別会計歳入歳出決算の認定については、初めて本定例会期中に行われ、9月9日に決算審査特別委員会を設置、23日から29日までの審査の後、10月2日の本会議で認定されました（詳細6～7ページ）。

一般質問及び質疑は9月15日から3日間行われ、15人の議員が登壇し、市政全般にわたって議論が行われました（詳細は8～15ページ）。

また、議員提出議案2件については全会一致で可決、市民からの請願1件は趣旨採択、陳情1件は不採択になりました（詳細15ページ）。



## ◆審議した議案とその結果は次のとおりです。

- 議案第76号及び77号は喫緊に取り組むコロナウイルス関連予算の先議のため、9月9日に全会一致で可決されました。
- その他の議案は10月2日に全会一致または賛成多数で可決・認定・同意されました。

## ◇市長提出議案

◎…全会一致 ○…賛成多数

内容	議案番号	件名・概要	議決結果
コロナウイルス関連の補正予算（先議）	76	令和2年度白河市一般会計補正予算（第5号） 補正額9億4,514万9千円、予算総額393億828万6千円	◎
	77	令和2年度白河市介護保険特別会計補正予算（第1号） 補正額11万1千円、予算総額58億2,988万5千円	
条例改正	78	白河市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例 普通財産の譲与等の対象者の拡大	◎
	79	白河市手数料条例の一部を改正する条例 通知カードの廃止に伴う規定の削除等	
	80	白河市債権管理条例等の一部を改正する条例 4条例で定める延滞金の特例基準割合の改正（債権、後期、介護、下水）	
	81	白河市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 連携施設の確保に関する特例	
	82	白河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 居宅訪問型保育事業者の保育範囲の拡大等	
	83	白河市立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例 大信地域の小学校統合	
工事請負契約の一部変更	84	ひがし保育園建設事業建築工事請負契約の一部変更について 契約金額と工期の変更	◎
動産の取得	85	動産の取得について	◎
	86	小・中学校タブレット端末購入	
指定管理者の指定	87	白河市東文化センターの指定管理者の指定について 指定管理者の指定	◎

内容	議案番号	件名・概要	議決結果
決算の認定	88	決算の認定について →P.6～7に掲載 令和元年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定	○
	89	白河市公営企業会計決算の認定及び剰余金の処分について 令和元年度白河市公営企業会計の決算の認定及び剰余金の処分	◎
補正予算	90	令和2年度白河市一般会計補正予算（第6号） 補正額23億703万7千円、予算総額416億1,532万3千円	◎
	91	令和2年度白河市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 補正額8,799万2千円、予算総額57億455万4千円	
	92	令和2年度白河市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 補正額2,612万9千円、予算総額6億9,076万5千円	
	93	令和2年度白河市介護保険特別会計補正予算（第2号） 補正額3億2,655万5千円、予算総額61億5,644万円	
	94	令和2年度白河市水道事業会計補正予算（第1号） 収益的 補正額432万8千円、予算総額12億6,835万5千円 資本的 補正額696万7千円、予算総額9億5,186万8千円	
		令和2年度白河市下水道事業会計補正予算（第1号） 収益的 補正額▲782万6千円、予算総額24億287万円 資本的 補正額▲718万円、予算総額19億3,583万円	
	95	令和2年度白河市下水道事業会計補正予算（第1号） 収益的 補正額▲782万6千円、予算総額24億287万円 資本的 補正額▲718万円、予算総額19億3,583万円	
条例制定	96	白河市思いやり条例 →P.16に掲載 思いやり条例の制定	◎
人事案件	97	人権擁護委員の候補者の推薦について →P.16に掲載 候補者の推薦の同意	◎
	98	樋ヶ沢財産区管理委員会委員の選任について →P.16に掲載 委員の選任の同意	

## ◇議員提出議案2件、請願1件、陳情1件 →P.15に掲載

総務  
常任委員会

### 市民オーケストラの設立準備として大型楽器を購入

白河市財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部を改正する条例のほか、議案3件が付託されました。



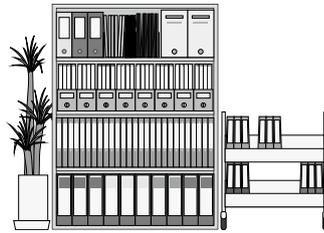
**議案第90号**  
令和2年度白河市一般会計  
補正予算(第6号)

**問** 白河市市民オーケストラ設立準備事業の機器購入について

**答** NTTドコモの東北応援社員募金の自治体寄付を受け、市民オーケストラで使用する大型楽器を購入するものである。現時点では、ティンパニ、バスドラム等の購入を予定しているが、指導者等の意見を参考にしながら、今後、楽器の選定を行っていききたい。

**問** 賦課徴収費の台帳整備業務委託の内容及び委託先について

**答** 土地台帳や家屋台帳等の紙資料を電子化して、各庁舎間で資料の共有化等を図るものであり、指名競争入札の方法により、業者を選定していききたい。



**問** 9月補正の繰り上げ償還(借入金返済)について

**答** 公債費(市の借入金)の縮減等を図るため、9月補正で15事業の借入15億6050万円のうち、7億1358万円を繰り上げ償還(返済)するもので、利子として4775万円が軽減される。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

市民産業  
常任委員会

### 「思いやり条例」市の責務、市民の責務を確認

白河市手数料条例の一部を改正する条例のほか、議案2件が付託されました。

**議案第96号**  
白河市思いやり条例

**問** 「白河市思いやり条例」とは、どのような目的と内容なのか

**答** 新型コロナウイルス感染症をはじめとする疾病、障がい、性別等を理由とした誹謗中傷又は偏見に基づく差別的な言動による社会的な孤立をなくし、市民一人ひとりが思いやりの心を持ち、思いやりの心で住みよい地域社会の実現を目的とするもので、市の責務として、正確な情報を市民に対し速やかに伝達し、正しい知識に基づく広報などの必要な施策を行い、適切な支援及び助言を行う。また市民の責務として不当な差別等を行わないよう努めるものとする。

**議案第90号**  
令和2年度白河市一般会計  
補正予算(6号)

**問** 農業の未来をつくるスマー  
ト農業推進事業で主だった機器

は、どのようなものがあるのか  
**答** 申請や相談がある12件のうち6件が農業用ドローンの導入であり、使用している方からは省力・軽労化につながるとの声を聞いている。

また密苗用田植え機や収量、食味センサー付きコンバインなどは新規でも就農しやすい環境整備等が期待できる。

**問** 災害対策事業の防災行政情報配信システムの防災ラジオの郵送対象者にはどれくらいの期間で配布が完了するのか

**答** 75歳以上の高齢者世帯等の対象者には10月中旬に申請書を発送し、申請書が返送され次第、順次発送し、年内完了を目指している。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

教育福祉  
常任委員会

学習者用タブレット端末機器を1人1台整備

白河市債権管理条例等の一部を改正する条例のほか、議案10件が付託されました。

議案第85号  
動産の取得について

**問** GIGAスクール構想の実現のための学習者用タブレット端末機器の単価について、国が補助対象とする購入費上限額を1台4万5千円としている。今回の契約で1台あたりの単価を確認したい。

**答** 国の補助対象となる基本パッケージでは、タブレット端末・キーボード・モバイルデバイス管理ソフトの3点で、今回の契約では1台あたり4万4990円になるが、市として独自に、児童生徒の

作品や撮影した写真などをサーバーに保存するためのソフトを追加することにより、1台あたり4万6090円となった。

※GIGAスクール構想／Global and Innovation Gateway for AI（児童生徒1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備。誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力を育成できる教育ICT環境を実現すること）

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決及び同意しました。

学校の感染症対策、発熱外来を現地調査

8月6日に「学校の新型コロナウイルス感染症対策状況」、「西白河地方発熱外来」についての現地調査を実施しました。

白河中央中学校では「AI顔認証サーモグラフィカメラ」の運用状況を確認し、大竹宏之校長から感染対策、保護者への対応などの説明を受けました。

「西白河地方発熱外来」診療所では担当職員から運営状況の説明を受けた後、白河医師



来て、しらかわ補助金を利用し11世帯31名が移住

白河市債権管理条例等の一部を改正する条例のほか、議案4件が付託されました。

議案第90号  
令和2年度白河市一般会計  
補正予算（第6号）

**問** 福島県ブロック塀等安全対策促進事業補助金に係る、危険なブロック塀の調査状況は

**答** 主に児童の通学路である計19・6キロメートルにわたる、個人宅のブロック塀を調査中であり、その進捗状況は50パーセントである。

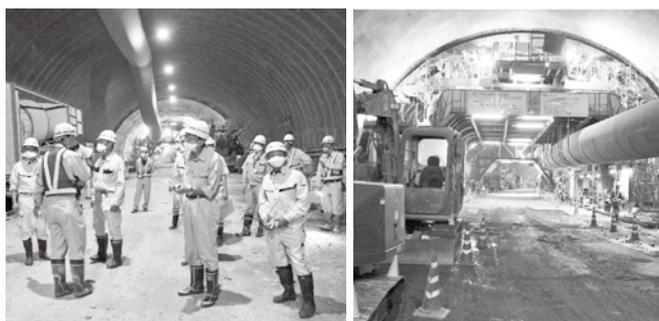
**問** 来て「しらかわ」住宅取得支援事業補助金を利用した県内外からの移住状況について

**答** 今年度、この事業を利用して、これまでに県内から6世帯18名、県外から5世帯13名、合計で11世帯31名が移住している。

R294号白河バイパス南湖トンネルを現地調査

9月18日、新たな本市の骨格をなす幹線道路として整備が進んでいる国道294号白河バイパス整備事業、南湖トンネルを現地調査しました。（10月16日、名称が公表されました）

同整備事業は南湖から豊地までの5・92kmで、トンネル474mを含む延長611mで改良工事が行われています。中心市街地を通るトンネルのため両側に歩道がありトンネル断面が広く、通学にも便利になります。9月17日現在、全長474mのうち282mまで掘削が進んでおり、2020年代初頭の供用開始を目指しています。



地質は軟質箇所も多く、薬剤注入工事やトンネル内への水漏れを防ぐ防水工も行われていました。

Point 2

わたしたちの税金がどのように使われたか？  
無駄な事業や問題点はなかったか？

# 認定

## 令和元年度一般会計及び特別会計歳入歳出の決算を認定

総額472億7,908万円を審査しました。

**決算審査特別委員会**は9月9日に設置され、委員8名の選出とともに委員長に室井伸一議員、副委員長に戸倉宏一議員が選出されました。9月23日から3日間にわたり質疑209件について慎重に審査が行われ、審査の結果、全会一致で認定すべきものと決し、10月2日の本会議で報告され賛成多数で認定されました。

### Q & A 主な質疑内容を紹介します

**Q. 前年度と比較し市税のどの税目が大きく増額となっているのか。**

**A. 市税全体で約3億7千万円増額のうち、固定資産税が約2億1千万円、個人市民税で約1億4千万円の増収となっている。**

**Q. 公債費の繰上償還による今後の財政指標の改善見込みについて**

**A. 今回の繰上償還（8億6,248万1千円）により**

・**経常収支比率が**

令和2年度決算で 約1.3ポイント

令和3年度決算で 約1.2ポイント

令和4年度決算で 約0.9ポイント

・**単年度の実質公債費比率が**

令和2年度決算で 約1.5ポイント

令和3年度決算で 約1.4ポイント

令和4年度決算で 約1.1ポイント

それぞれ**改善する見込み**である。

今後も健全で安定した財政運営を維持するため、景気の動向をはじめ、市債残高や健全化に関する財政指標の推移など、市の財政状況を総合的に判断し、検討していく。

**Q. 合併直後の平成18年度と令和元年度との市税総額の比較、同規模の合併団体との市税の伸びについて**

**A. 市税総額は平成18年度77億4,254万7千円、令和元年度95億2,873万5千円で、17億8,618万8千円の増額。**

・伸び率は喜多方市2.0%、伊達市5.3%、二本松市7.8%、南相馬市10.4%、須賀川市14.4%、白河市23.1%で、**本市が最も高い伸び率**となっている。

・これは、**企業誘致**をはじめとする**産業振興施策**の効果によるもの、更には、市税収納率向上計画に基づき、組織的な取り組みを進めてきたことにより、**税込増や99%を超える収納率**につながっているものとする。



議会の重要な権限の一つである「決算認定」を行うため、特別に設置される委員会。予算が実際にどのような使われ方をしたのが審査をして、適正かつ妥当に使われたのかを認定します。

9月9日……………決算審査特別委員会設置

9月23日～24日……個別審査

9月29日……………総括質疑・表決



委員長 室井 伸一  
副委員長 戸倉 宏一  
委員 大木 絵理、吉見優一郎  
荒井 寿夫、高橋 光雄  
山口 耕治、須藤 博之

## ◆一般会計決算 15億5,731万9千円の黒字

一般会計	令和元年度	平成30年度	増減率
収入済額	340億909万9千円	320億2,625万6千円	6.2%
支出済額	324億5,178万円	306億7,936万3千円	5.8%
歳入歳出差引額	15億5,731万9千円	13億4,689万3千円	15.6%
翌年度へ繰り越す事業の財源	3億2,324万4千円	3億1,903万円	1.3%
実質収支額	12億3,407万5千円	10億2,786万3千円	20.1%

歳入		令和元年度	平成30年度	増減率
市税	市民税、固定資産税など	95億2,873万6千円	91億5,433万9千円	4.1%
地方譲与税・交付金	国や県が徴収した税金から一定の割合で配分される交付金	17億4,911万9千円	16億9,477万5千円	3.2%
地方交付税	地方が標準的な行政サービスを行うために必要な財源の不足分を、国が配分する交付金	73億8,649万7千円	71億9,906万1千円	2.6%
国・県支出金	特定の事業に対して国や県から支出される補助金など	68億6,994万4千円	68億2,364万6千円	0.7%
市債	市の借入金	30億7,430万円	31億6,940万円	-3.0%
その他	使用料・手数料・繰入金・繰越金など	54億50万3千円	39億8,503万5千円	35.5%
歳入合計		340億909万9千円	320億2,625万6千円	6.2%

歳出		令和元年度	平成30年度	増減率
総務費	市税の徴収・庁舎の維持費など	48億9,944万7千円	48億1,897万3千円	1.7%
民生費	高齢者福祉や児童福祉、保育園運営、生活保護など	88億3,146万8千円	79億6,812万4千円	10.8%
衛生費	検診や予防接種、除染事業、ごみ処理など	18億2,357万4千円	19億8,970万2千円	-8.3%
土木費	道路の舗装や維持補修、河川や公園の管理など	32億554万8千円	37億6,015万5千円	-14.7%
教育費	幼稚園、小中学校の学校教育、社会教育や文化財の保護など	35億2,324万7千円	39億7,681万5千円	-11.4%
災害復旧費	災害によって生じた被災施設の復旧など	8億7,205万4千円	4億5,746万円	90.6%
公債費	借入金の返済	40億659万2千円	32億1,103万5千円	24.8%
その他	農林水産業費、消防費、商工費など	52億8,985万円	44億9,709万9千円	17.6%
歳出合計		324億5,178万円	306億7,936万3千円	5.8%

## ◆健全化判断比率

指標	内容	結果	早期健全化基準* (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.65%	20%
連結実質赤字比率	一般会計・特別・企業会計を合算した赤字の割合	赤字なし	17.65%	30%
実質公債費比率	年間の借入金返済額の割合（3か年平均）	11.40%	25%	35%
将来負担比率	将来の負担が見込まれる負債（借金）の割合	70.1%	350%	

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となる

## 新型コロナで疲弊した経済、市長の回復策は？

デジタル化が進む社会を視野に、地元企業支援施策に全力をつくす



北野 唯道 議員

**問** 新型コロナウィルスの影響により疲弊しきつた地域経済の回復策について、市長は今後どのように取り組んでいく考えなのか伺う

**答** デジタル化が進むアフターコロナの社会を模索しつつ、当面は感染予防と地域経済のバランスを取りつつ、地元企業を支援する各種施策に全力で取り組む。

**問** 新型コロナウィルス感染症に関する支援策のうち、子育てに係る主な支援の利用状況について

**答** 子育て世帯への臨時特別給付金は感染症が流行するなか、学校の臨時休業等により影響を受けた子育て世帯を支援するため、児童手当受給世帯に対し、児童一人当たり1万円を支給。支給状況は4156世帯、児童数7011名分で、7011万円を6月25日に支給している。

**問** 特別定額給付金の支給状況について

**答** 給付対象は2万4951世帯、6万4411人で、給付実績は2万4875世帯、6万356人、給付金総額は60億3560万円である。



## 未来をつくるスマート農業推進事業の拡充を!

スマート農業の推進に努める



根本 建一 議員

**問** これまでの実績を伺う

**答** 昨年度は、農業用ドローン、GPS付きウイング800等5件、本年度は、密苗用田植機、農薬散布用ラジコンボート等5件の決定をしている。

**問** 農業者の高齢化により、担い手への集積の進行に伴い作業の効率化、省力化、低コスト化が新規就農者の促進対策にも大変重要となる。スマート農業はこのような農業の現状を踏まえロボット技術やICTを活用し、熟練農業者が行ってきた技術の再現、作業の省力化、効率化による大規模生産の実現、きつい作業危険な作業からの解放、誰もが取り組みやすい農業の実現が期待されていることから、来年度以降事業拡充をすべきであると考えますがどうか

**答** スマート農業の導入は、農作業における省力、軽労化を図れるほか、栽培技術データを蓄積することによ

り、事業承継をスムーズに行うことができる。引き続きスマート農業の推進に努めていく。



GPS搭載トラクター実証実験の様子

# 都市基盤である主要道路の整備、市長の決意は？

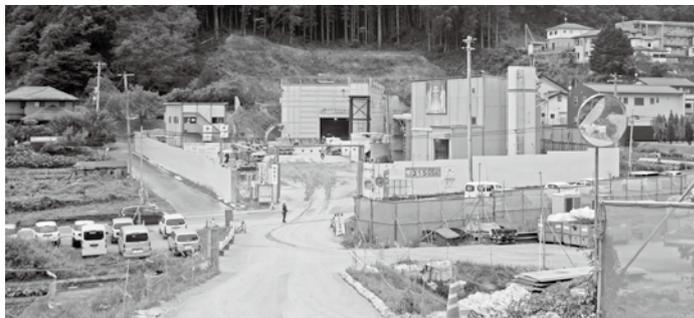
地域の方々と一丸となって全力で取り組む



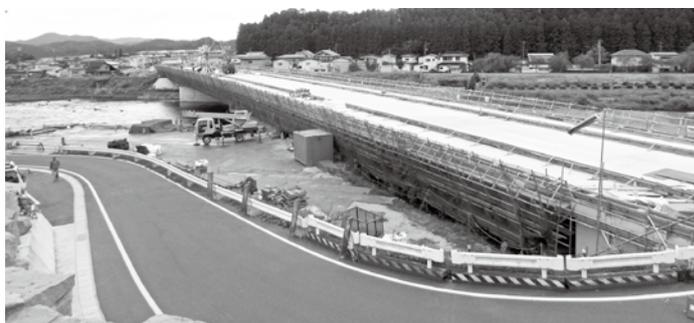
戸倉 宏一 議員

**問** 県南地方は主要道路の整備が遅れていると考えられる。国道4号4車線化に加え、白河中央スマートICや国道294号白河バイパス、国道289号整備の進展は、市長のリーダーシップによるものと手腕を高く評価している。改めて主要道路の整備について、市長の決意を伺う。

**答** 道路は社会資本の代表である。本市にとっても最重要課題と認識している。県南地域全体の持続的発展のために引き続き市議会や企業、町内会、住民の方々と共に地域一丸となって取り組んでいく。



国道294号白河バイパス  
南湖トンネル  
(10月16日名称公表)



国道294号白河バイパス  
小峰大橋  
(10月16日名称公表)

# 白河名山三山のトイレ事情を問う！

地域の関係者と現地調査を行う



緑川 摂生 議員

**問** 権田倉山・関山・天狗山観光や教育に対する今後の利活用を問う

**答** コロナ禍の状況で三密を避ける体験が注目を集めている。より快適に何度も足を運んでもらえる場所になるよう、地域の方々と連携しながら三山の魅力向上に取り組む。また教育においては、地域の自慢や文化自然を調べる学習などに生かされている。今後もより一層郷土愛を育む教育を進めていく。

**問** 三山と周辺観光地を掲載したパンフレットを作成しPRに努めてはいかがか

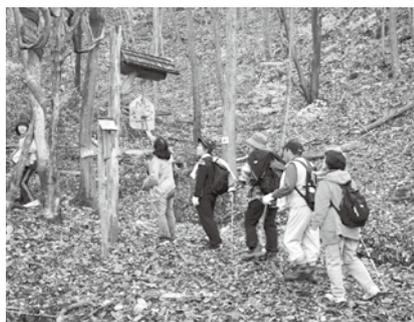
**答** 三山を紹介するポスターや観光名所、飲食店など観光案内パンフレットの作成について地域の方々と協議して取り組んでいく。

**問** 三山のトイレ施設、現状及び重要性を伺う

**答** 関山は関辺市民体育館、天狗山は表郷総合運動公園、権田倉山は聖ヶ岩ヒジターセンターを案内。関山は登山道入口まで距離があるため、地域の関係者と現地調査などを行う。



表郷より望む那須連山と関山の雄姿



日本一遅い山開きの天狗山

## アフターコロナ、白河が注目されるための政策視点は？



二地域居住や子育て世代の希望を叶える施策を展開

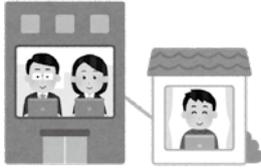
石名 国光 議員

**問** コロナ感染者の急増でテレワークが導入され「東京でなくても仕事ができる」との雰囲気が出始め、首都圏で影響を強く受けている。これからは地方が大きくコロナズアップされると考え、注目される白河に对于の政策視点を市長に伺う。

**答** ①アフターコロナの政策の視点は、東京一極集中に変化が始め、サテライトオフィスや情報通信基盤を整備して白河で仕事ができるよう、交通の利便性を活かした二地域居住を推進する。

**答** ②東京圏の転出超過現象を「地方に住みたい」と変えていくために産業の振興、雇用の場の確保、医療・教育の充実と子育て支援で若い世代の希望を叶える施策を展開していく。

**問** ③暮らしやすさには、人間と人間が空間と時間を共有しお互いに共感することで得られる安心感や、地域社会に自分の力を活かせる充実感などが必要である。こうした考えを基軸とし、バランスのとれたまちづくりを進め、暮らしやすい白河を目指していく。



## コロナ禍における今後の文化振興のあり方は？

リアルな体験や感動が求められ、文化芸術の重要性が増すので力を注ぐ



室井 伸一 議員

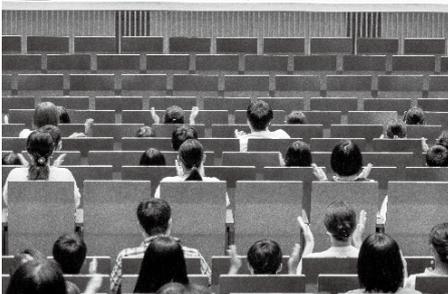
**問** 新しい生活様式の中で文化振興について

**答** コロナ禍における新しい生活様式という制約の中にあっても、文化の火を灯し続けるため、感染症対策となる空調設備の改修をはじめ、市民に発表・鑑賞の場をつくる事業や施設使用料の補助制度を設けるなど、必要な策を講じてきた。アフターコロナの社会においては、時間と空間を共にして、音楽や演劇などリアルな体験を通じ感動をできる場がこれまで以上に求められる。社会から孤立しがちな人や社会的弱者など、多様な人々を包み込む社会的包摂性を有する文化芸術の

重要性がさらに増していくことから、引き続き、文化振興に力を注いでいく。

**問** 文化交流館コミネスの三密対策について

**答** 入館前の検温、風邪症状など体調不良の方の入場をお断りすること、施設内で社会的距離を保つこと、マスクの着用、手指消毒の励行を行っている。こまめな換気や定期的な消毒、入退場の分散化をしている。



コミネスでは入館前の検温、手指消毒、入退場の分散化など三密対策をして皆さんをお待ちしています

# 住みよさランキング県内1位等について

足元にある様々な資源を磨くこと



角郎 議員

**問** 住みよさランキング県内1位等を踏まえたまちづくりについて、市長に伺いたい

**答** このランキングには、富裕度、利便度、安心度、快適度の4つの客観的指標から、本市は、いずれもが全体の中位以上に位置し、バランスのとれた都市として評価された。

**問** 中山義秀生誕120周年記念を踏まえた記念行事について

**答** 今年度の中山義秀文学賞の最終候補3作品も決定



中山義秀記念文学館

し、今後も、郷土が生んだ偉大な作家中山義秀の知名度を高める。

**問** 台風19号災害復旧について、復旧状況について伺う

**答** 農地、農業用施設の被災箇所は、補助事業と単独事業あわせて、農地が647件、農業用施設が1409件であり、被災直後から、全力で復旧に取り組む。

**問** 高齢者見守り生活支援事業について

**答** 高齢者が、新型コロナウイルス感染対策による外出自粛や運転免許証の自主返納により、生活が不安定になり、要介護状態へ近づくことが懸念されるため



# 子どもたちが利用しやすいトイレの整備を

子ども用トイレの整備や、さらなる洋式化を検討する



裕哉 議員

**問** 全国的にも知名度の高い白河の関「関の森公園」には多くのファミリーが訪れている。現代のニーズに合ったトイレ整備を求める。

**答** 現在、管理棟内と遊具前の水車小屋隣にトイレが設置してあるが、洋式は男女共に一つ、多目的トイレの一つという状況である。

多くの子供達が遊具を利用していることから、水車小屋隣には子供達の使いやすいトイレがあれば、なお快



子供たちに大人気の「関の森公園」の遊具

適な場所となり利用者の利便性も高まる。管理棟内のトイレも含め子供用トイレの整備や更なる洋式化を検討していく。

**問** 登下校安全のための「見守り隊」。その現状と存続について伺う。

**答** 現在の登録者は906名。年々高齢化とともに、人員の減少も進んでいる。存続のために学校から保護者への協力依頼や町内会での募集をしている。また、見守り隊の方を学校行事に招待するなど、子供達から感謝の気持ちを伝えることも今後続けていく考えである。



# いじめ対策、心のケアや解決に向けての対応は？

委員会を立ち上げ調査解明し、心の不安に寄り添った対応をする



佐川 京子 議員

**問** 五箇中の今後について

**答** 今後、統合については市教育委員会が主体となり、これまでの検討結果なども踏まえ整理検討し、不安解消を図る手立てや統合時期を検討し、検討した結果を保護者及び地域住民に説明していく。



**問** いじめ対策について

**答** 平成30年3月に「子どもものいじめ防止条例」を制定し、その条例を受け、「いじめ防止基本方針」を

策定し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。重大事態が発生したときは、「いじめ防止対策委員会」を立ち上げ、市長が再度調査が必要と判断したときは、「いじめ調査委員会」で第三者により調査を行う。



**問** 旧脇本陣蔵座敷前の働工場について

**答** 大規模補強が必要なため、地域住民等の意見を踏まえ、改築か解体か具体的方策を検討していく。

**問** 公共施設整備について

**答** 高齢者や体が不自由な方にアンケート調査の実施や検討委員会への参加や施工状況の確認機会の確保に努める。

# コロナ感染で差別、偏見、誹謗中傷あってはならない

思いやりの心で互いに支える白河へ。市長が直接市民に語りかける。



高橋 光雄 議員

**問** コロナ感染はやっかいである。原発事故で県民は差別や偏見、誹謗中傷を受けた。コロナ感染者に同じことがあってはならない。これからも市長は直接市民に語りかける必要がある

**答** 市は、医療資材の支援や発熱外来等、医療体制の整備をしてきた。また、差別的言動による孤立をなくし、お互いに支えあう住みよい地域社会を実現するため「白河市思いやり条例」を追加提案する。引き続き感染防止対策を進めるとともに、感染された方を差別するような空気が生まれないよう、適宜、市長が直接市民に語りかける。



**問** コロナで出足を挫かれたかたの感もあるが、渋沢翁と楽翁公との関わりを踏まえた本市PRのための実行委員会の活動について

**答** 7月25日に第1回総会を開き、南湖公園魅力発信事業実行員会を設立するとともに今年度事業を決めた。また、渋沢翁が力を入れた福祉事業は、楽翁公の影響が大きかったこと等、外部へ発信する。



# 野良猫問題、不妊虚勢手術も含め解決するべきでは？

ボランティア団体と連携を図る。動物愛護を呼びかける。



## 大竹 功一 議員

**問** 新型コロナウイルスに加え、インフルエンザの流行期に入る。発熱外来の対応は万全になっているのか。

**答** 白河医師会を通じ、医師の増員も含め対応を協議している。現在、万全の体制を作るべく協議していく。

**問** 本年は、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の更新時期だと思われるが、現在の進捗状況はどうか。

**答** 本来であれば、市民のニーズ等の調査が終了し、協議会等に報告する時期ではあるが、今般の新型コロナウイルスの影響で事業が

遅れている。ただ、今年度中には協議会より答申を受け議会にも報告できるように努めたい。

**問** 9月20日から26日は動物愛護週間である。福島県内では野犬・迷い犬等の殺処分数は減少しているが野良猫及び迷い猫等の殺処分数は全国1・2位と言われている。白河市内の苦情等はどうなっているのか。

**答** 担当課には、数件の野良猫に関する苦情が寄せられている。現在、ボランティア団体と連携し対応している。

**動物の遺棄・虐待は犯罪です。**  
罰則が強化されました。

- 愛護動物を殺傷した場合 5年以下の懲役または500万円以下の罰金
- 愛護動物を遺棄・虐待した場合 1年以下の懲役または100万円以下の罰金

環境省 警察庁

# 子育て世帯の悩み。児童クラブに入会可能な学年が制限されている!

要因は入会する児童数の増、そして支援員不足



## 大木 絵理 議員

**問** 児童クラブの現状を伺う。

**答** 今年度から新たに預かることができなくなった児童クラブは白一小の5・6年生。白二小の4年生。白三小の4・6年生。白四小の5・6年生。白五小の5・6年生。みさか小の4年生である。要因としては、入会する児童数の増加及び支援員不足である。

**問** 児童クラブ職員への独自調査の結果、様々な課題や要望が明確になった。市としてどのように対応するのか。

**答** 施設改修や建設の検討、研修の実施、障がい児保育指導員の訪問指導等を行い、支援員が働きやすい環境を整備していく。

**問** 市民検診を予約制にし、子ども連れでも受診可能にしてほしい。

**答** 電話とホームページから予約できるように整備する。また、検診場所にて託児可能であることを周知していく。



市民検診を実施している中央保健センター

**問** 2月に行われたマイタウンのアンケート結果について。

**答** 結果を受け、環境整備等の改善を進めている。駐車場についてはワーキンググループを立ち上げ、検討が始まったところである。

# SDGs（持続可能な開発目標）市の考えは？

SDGsの考え方に沿った施策を推進するため調査研究する



荒井 寿夫 議員

**問** 本市の地域計画の最新版に非常に形式的な形でSDGs（持続可能な開発目標）が掲載されたが、市の考えは

**答** 本市はこれまでSDGsの理念に合致する住民福祉の増進の具体的施策を展開してきたが、今後モータークロナ社会を見据えたSDGsの考え方に沿った施策を推進してまいりたい。

**問** 本市の新たな環境基本計画案とSDGsの関係、国の第五次計画の示す再工業活用による持続可能な地域づくりの位置づけはどうか



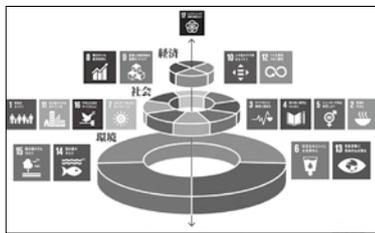
**答** 新計画ではSDGsの考え方を反映する形で策定し、地域資源依拠の再工業活用を盛り込みたい。

**問** 本市の具体的適用は木質バイオマスと営農型太陽光発電の地産地消による農業振興を目指すべきではないか

**答** 有効と考え関係部局横断的連携で調査研究する。

**問** 多文化共生として外国人住民対象の公的な日本語教室開設が今こそ必要では

**答** ニーズや実態踏まえ国際交流協会と連携し検討する。



# 100年前のスペイン風邪を教訓に

県内最初の誹謗中傷を禁ずる条例を制定



柴原 隆夫 議員

**問** 日本は今から100年前にスペイン風邪で50万人が死亡し、国民の4割もがウイルスに感染した。今、この先人の尊い教訓を活かす時です。また、コロナ感染者やその家族の悪口や責めを受けたり、学校では「いじめ」が起こっている。コロナに感染した巨人軍の坂本選手らは、一般人よりかなり厳しく行動が管理されている。いかに気をつけても「誰もが感染する可能性」がある。コロナ感染者への誹謗中傷への対策が必要では。

**答** 地球の温暖化により、今年7月の熊本県地方豪雨のように記録的な大雨が毎年発生し、多くの犠牲者が出ている。特に夜間や早朝の避難は危険が伴う。命を守る避難勧告を早目に出すことが大切かと思うが

**問** 県内で最初に「思いやり条例」を制定し感染者への中傷や差別をなくし、住みよい地域社会の実現を目指す。

**答** 県内で最初に「思いやり条例」を制定し感染者への中傷や差別をなくし、住みよい地域社会の実現を目指す。



# GIGAスクール構想とは？

子どもたちの創造性を育むICT(情報通信技術)教育環境を実現すること

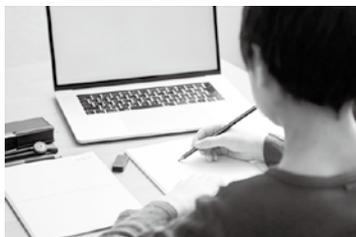


深谷 弘 議員



**問** コロナ禍のなか、自宅で授業が受けられるオンライン学習の必要性を感した。現在、全ての小中学生にタブレット端末を配備するなどハード面での環境整備が進められているが、背景には国のGIGAスクール構想がある。この構想はどういうものか。

**答** Aいやビッグデータ、ロボットなど、最先端のICT(情報通信技術)の進展は著しく、子どもの教育にはICTの効果的活用が求められる。世界から遅れないよう、全国の児童生徒一人一台の端末と、学校内に通信ネットワークを整備するため打ち出された。ねらいは、積み上げられてきた教育実践とICTを組み合わせ、子どもの持てる力や教師の指導力を引き出すこと。



**問** ICTを使った教育を実践するのは教職員である。教職員への指導援助はどうなるのか。

**答** 教員の不安には、先進校で機器操作や活用方法の研究を行い、各学校で研修する。ICT支援員の配置も行う。

## 議員提出議案・請願・陳情・意見書

9月定例会で審査された議員提出議案・請願・陳情・意見書について、その内容と結果についてお知らせします。

### ◇議員提出議案

案件番号	案 件 名	議決結果
意見書案第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決(全会一致) 関係機関に意見書を提出しました。
意見書案第5号	多核種除去設備(ALPS)等処理水の処分決定に関する意見書	可決(全会一致) 関係機関に意見書を提出しました。

**💡** 議員提出議案…市長提出議案に対し、議員が議長に提出する議案のこと。原則として2人以上の議員の賛同により、提出できることになっています。

### ◇請願議案

案件番号	案 件 名	議決結果
請願第4号 DAPPA(平和と平等を守る民主主義アクション)	東京電力福島第一原子力発電所事故で発生した放射能汚染水(アルプス処理水)の海洋放出に反対する意見書提出を求める請願	趣旨採択(全会一致) 議員提出意見書案を提出する。

**💡** 趣旨採択…請願の願意については十分に理解できるが、実現性の面で確信が持てないといった場合に採られる請願に対しての決定の方法。請願や陳情に対する表決は、採択か不採択の2種類とされますが、請願や陳情の趣旨を生かすために行う方法。請願や陳情の「趣旨には賛同するが、事情の好転(財政事情等)を待って実現すべきである」という意味での議決を示します。

### ◇陳情議案

案件番号	案 件 名	議決結果
陳情第1号 新日本婦人の会・白河支部・花みずき班「学校給食を無料にする白河の会」	新型コロナ支援金を使い白河市立の公立小中学校の給食費を無料にすることを求める陳情	不採択(賛成なし)

# 12月定例会の予定（12日間）正式には12月7日の開会日に決定します。

● 時間：午前10時から ● 場所：本庁舎4階 議場

12月 7日（月）	本会議【開会、会期決定、提案理由説明】
11日（金）	本会議【一般質問及び質疑、委員会付託（請願・陳情）】
14日（月）	本会議【一般質問及び質疑】
15日（火）	本会議【一般質問及び質疑、委員会付託（議案）】
16日（水）	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
18日（金）	本会議【委員長報告、各案件表決、閉会】

議場・事務局は本庁舎耐震補強工事に伴い、移転していた表郷庁舎から戻りました。

## 議場が新しくなりました

議場の改修により傍聴席の入口が4階に変わりました。現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴の自粛や人数の制限をお願いしていますが、傍聴の際は以下についてご協力をお願いいたします。

なお、傍聴を希望する場合は、事前にご確認ください。

- マスク（各自でご用意ください）を着用
- 手洗い、手指消毒の徹底
- 熱（37.5度以上）のある場合や、体調不良（だるい、咳が出るなど）の場合は、傍聴を自粛願います。



本会議はインターネット中継及び録画配信を行っています。こちらのQRコードを読み込んでください。



## 人事案件

議会に同意を得るために提出する議案が人事案件。9月定例会で同意されました方を紹介します。

### ○人権擁護委員の候補者の推薦に同意

蓮田 アキ子 氏（表郷番沢）

【任期：令和3年1月1日～令和5年12月31日】

本市では14名が人権擁護委員に委嘱されており、憲法で保障されている地域住民の基本的人権の擁護と人権尊重思想の普及高揚を目的として活動しています。

### ○樋ヶ沢財産区管理会委員の選任に同意

國井 孝士 氏（大信増見）

【任期：令和2年10月2日～令和4年3月31日】

本市には小田川財産区（小田川広谷地内）、大屋財産区（大信隈戸及び下小屋地内）、樋ヶ沢財産区（大信下小屋地内）があり、それぞれ管理会を設置しており、各7名の委員が選任されています。

## Point 3 新型コロナウイルス感染だけでなく、障がいや性別を理由とした偏見など、様々な人権侵害をなくすために～ 思いやり条例の制定を全会一致で可決！

この条例は、子どもから大人まで市民一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、不当な差別を解消するため市民の皆さまと市が共に取り組む姿勢を明らかにしたものです。

こんなことはありませんか？

- \* 仲間はすれ、差別、うわさや暴言、セクシャルハラスメント…
  - \* 家庭内の問題、隣近所トラブル、虐待、いじめ、不登校…
- 人権擁護委員が、相談に応じています。

※詳しくは福島地方法務局白河支局 ☎0248-22-1201まで

**お詫びと訂正**  
「議会だより（第59号）」の内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。  
【訂正箇所】  
7頁「一般質問 室井伸一」のうち、羅漢山霊園合葬墓・地下の共同埋葬室に納められる遺骨の数について  
（誤）1万500人分  
（正）1千500人分

### 議会報編集委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
山口 耕治	柴原 隆夫	高島 裕	吉見 優一郎	室井 伸一	水野 谷正則

今回の表紙は、白河市ひがし幼稚園にご協力して頂き、この度新しく白河ご当地ナンバーに付け替えた幼稚園バスを、年長クラスの園児の皆さんと一緒に撮らせて頂いたものです。  
今後、白河市のPRをしていくうえでご当地ナンバーの普及にも尽力していきたいと思っております。  
吉見優一郎 委員

### 編集後記